

ふるさとを愛する伊佐沢っ子の育成  
～学校・家庭・地域が連携した学校づくり～  
念佛踊り・運動会を通して



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
長井市立 伊佐沢小学校	伊佐沢小学校学校運営協議会 平成30年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 1名 1名 地域コーディネーター 1名 0名	伊佐沢小学校 地域学校協働本部



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

伊佐沢小学校児童が地区の伝統芸能である「少年少女念佛踊り」に取り組んで40年以上になる。児童は、念佛踊りに対して誇りを持って受け継いでいる。しかし、学校の職員による踊りの指導が困難になってきたことや児童数の減少により学校中心に継承していくことが難しくなったため、これまで以上の連携・協働が必要になってきている。また、運動会の実施に関して、学校側は地域の方々との交流の機会の確保、地域側は参加者の減少が課題となっていた。

目標や目指す姿(学校)

学校と家庭・地域が協働した学校づくり ～学校と家庭・地域が課題を共有し、教育活動の見直しや改善～

目標や目指す姿(地域)

体験的な学びを通し、自然に親しみ、豊かな心を養い、仲間づくりをする。～たくましいこころとからだづくり～



伊佐沢小学校学校運営協議会の特徴

委員の立場や属性等

- |                                       |                                      |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> コミュニティセンター館長 | <input type="checkbox"/> 伊佐沢教育会会長    |
| <input type="checkbox"/> PTA関係者       | <input type="checkbox"/> 伊佐沢さくら会会長   |
| <input type="checkbox"/> 民生児童委員       | <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動推進員 |
| <input type="checkbox"/> 地区長会会長       | など、計 9名で構成                           |
| <input type="checkbox"/> 交通指導員        | 年間平均 3回程度開催                          |

効果的な運営の工夫

学校運営協議会の委員の方々は、学校・地域に関わる組織や団体の代表になっている。そのため、学校の課題や地域の課題について、学校運営協議会以外でも話し合う機会があり、そのことが協議に関わる事前の確認や意見交換の場となり、当日の円滑で深まりある話し合いにつながっている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

学校として地域の方々とのふれあいの場の確保が課題であり、地域としては、各種行事への参加者が年々減少していることや子供たちの様子が見えないという課題があった。そこで、学校と地域の運動会を合同で実施することを企画・検討した。また、念佛踊りについても学校と地域が連携して継続した取組を望む声があった。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

40年以上続く少年少女念佛踊りの継承のため、念佛踊り保存会の方々を指導者として迎えている。そして、地区の文化祭での披露を通して、子供たちの伝統を受け継いでいる。運動会に関しては、地域・学校の連携・協働により、今年度第1回目を実施し、成功を収めることができた。



少年少女念佛踊り

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

本地区コミュニティセンターが、地域の実態に合わせた活動を企画し、地域活性化に大きく貢献している。その連携・協働の強化で、各種団体・組織とのつながりも密接になっている。学校運営協議会として、地域学校協働活動が充実することで、社会に開かれた学校づくりが推進され、共に伸びていくことを目指している。また、地域学校協働活動推進員が、教育課程において効果的に活動ができるよう各種団体との連絡調整を細やかに行っている。地域の「念佛踊り保存会」や地域の方と連携した指導の中で、子供たちは念佛踊りに対する歴史や願いを聞き、伝統を大切に受け継ぐ思いを持つことができた。また、地域のスポーツフェスティバルへの子供たちの参加・実施時期の調整等、長期に渡る連携・協働を行ったことが、合同運動会の成功へとつながった。

取組

成果・効果

- 1 今年度、学校と地域との第1回合同運動会が開催され、以下のような成果が見られた。
  - 子供たちの頑張っている様子を地域の方々に見てもらうことで、地域の一員としての自覚や自己肯定感の向上につながった。(学校)
  - 地域の方々、子供たちの頑張りをみることで喜んでおり、学校への関心も高まった。参加者も確保できた。(地域)
  - 学校と地域で準備作業が分担できたことで、お互いの負担軽減につながった。(学校・地域)
- 2-1) 少年少女念佛踊りについて、以下のような成果が見られた。
  - 地域の方からの熱心な指導のおかげで、子供たちも真剣に練習に取り組むことができています。
  - 伝統を受け継ぐことに誇りを持って取り組んでおり、郷土愛を育むことにつながっている。
  - 指導者や地域の方々・上級生に対する感謝の心が育っている。
  - 地域の方々、子供たちの頑張っている様子を見てもらい、称賛と励ましをいただいている。
- 2-2) 検討されている点
  - 小学校児童数の減少を受けて、今後は、中学・高校生の参加と指導を得るなど、幅広い年代層の参画で活動の活性化を図りたい。
  - 地域主催による、児童対象のわらじの履き方教室や保護者対象の着付け教室等の実施(令和2年度に実施)など、地域の教育力を生かすためにも地域が主体となる活動の検討を行いたい。